

2016年12月15日

各 位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

地熱バイナリー発電設備向けリース取組について

三井住友ファイナンス&リース株式会社(取締役社長:川村 嘉則、以下「SMFL」)は、出光興産株式会社(代表取締役社長:月岡 隆)の100%子会社である出光大分地熱株式会社(以下「出光大分地熱」)の地熱バイナリー発電事業向けに、発電設備のリース契約を締結しました。

発電所の事業運営は出光大分地熱が行い、SMFLは出光大分地熱向けにタービン発電機、冷却塔、蒸発器、凝縮器などの発電設備一式をリースします。

出光大分地熱は、これまで電力会社向けに発電用蒸気を供給しており、今般、蒸気に付随して噴出する未利用熱水を利用した地熱バイナリー発電の事業を行います。稼働すると発電容量5,050kW、年間発電規模3,100万kWhの国内最大級となる地熱バイナリー発電所となります。

地熱バイナリー発電とは、低沸点媒体を用いることで、従来の地熱発電では活用できなかった低温の蒸気・熱水での発電を可能にする発電方式です。太陽光や風力発電と異なり、天候や気候の影響を受けることが少ない為、安定的なベース電源として期待されています。

SMFLでは、地熱発電普及促進を支援する「日本地熱協会」に加盟しており、多方面からの情報収集を行うとともに知見を広め、リースを通じて地熱発電の事業化支援を行っています。

SMFLは、これからも地熱発電事業に加え、バイオマス発電事業、小水力発電事業等へのリース・割賦取引により、多様なエネルギー源による地域共生・地産地消の普及に貢献してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

広報IR推進室 五十嵐 TEL 03-5219-6334